

目 次

1. はじめに	1
1.1. 本研究の位置付け	1
1.2. 本資料の構成	1
2. 設計状況 (Design situation) 設定に関するレビュー	3
2.1. 諸外国の基準類における荷重組合せと荷重係数に関する規定	3
2.2. 国内における荷重組合せと荷重係数に関する研究状況	13
2.3. まとめ	14
3. B-C モデルに基づくモンテカルロシミュレーション方法の提案	17
3.1. シミュレーション方法の概要	17
3.2. 部分係数キャリブレーションの理論背景	17
3.3. 荷重の重ね方および組合せ断面力の評価方法の提案	26
4. 入力する荷重の確率モデル	33
4.1. 荷重の種類と季節区分の考慮	33
4.2. 死荷重 (D)	35
4.3. 活荷重 (L)	42
4.4. 温度変化の影響 (TH)	59
4.5. 風荷重 (W)	64
4.6. 地震の影響 (EQ)	73
4.7. 雪荷重 (SW)	83
5. 荷重組合せのみに着目したシミュレーション	85
5.1. 荷重組合せの評価方法	85
5.2. シミュレーションを用いた荷重組合せの評価	88
5.3. 荷重の発生時間区間数の違いが荷重組合せに与える影響	107
5.4. 検討結果のまとめ	114
6. シミュレーション結果と荷重組合せ・荷重係数の推定	115
6.1. 対象橋梁と着目断面	115
6.2. 荷重組合せおよび荷重係数の推定の確率的目標水準	118
6.3. 荷重係数の抽出と集約結果	126
6.4. 検討結果のまとめ	141
7. 荷重ばらつき係数と荷重組合せ係数への分離	142
7.1. 分離理由と方針	142
7.2. 死荷重と活荷重の荷重ばらつき係数と荷重組合せ係数の評価	142
7.3. 温度変化の影響に関する荷重ばらつき係数	144
7.4. 風荷重に関する荷重ばらつき係数	145
7.5. 地震の影響に関する荷重ばらつき係数	147

7.6. 荷重ばらつき係数と荷重組合せ係数の分離	149
8. 活荷重係数に関する感度解析	150
8.1. 交通特性や参照期間が活荷重係数に与える感度に関する検討	150
8.2. T 荷重に着目した感度解析	161
8.3. 既往の研究における活荷重係数の算出結果との比較	171
9. 信頼性指標の試算を通じた B 活荷重の形状や載荷方法に関する一考察	173
9.1. 信頼性指標 β の試算仮定条件	173
9.2. 信頼性指標 β の算出結果と考察	174
10. まとめ	175